

科目名	教育方法学研究ⅠB					担当者氏名	田中耕治 西岡加名恵
英 訳	Studies of Curriculum & Instruction and Life-span Development ⅠB						
科目コード	6475000	配当学年	大学院	授業形式	研究	共用科目	
単位数	2	開講期	後期	曜 時 限	火・3	教室	第3演習室
授 業 内 容							
<p>カリキュラム開発と評価</p> <p>ⅠAに引き続いて、学校における教育実践に即してその合法性を追求し、実践の過程がどのように組織だてられた時に被教育者は人間としての発達過程（人間化の過程）をたどることができるのかを探究する。教育目標の探究からはじまる教育内容の選択とカリキュラムの構成、学習指導の原理及びその過程、訓育の理論とその過程、それらの効果的な組織化の課題をとりあえる。</p> <p>とりわけⅠBでは、指導要録改訂期における評価（カリキュラム評価）の機能を実証的に考察する。被教育者の学びの実態に即して、教師の指導のあり方を問い直し、学びの方向性に見直しを与える契機を評価に求め、評価が教師の主体的実践を支える基本的要素であることを明らかにする。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	教育方法学研究ⅡA					担当者氏名	やまだ ようこ 遠藤利彦
英 訳	Studies of Curriculum & Instruction and Life-span Development ⅡA						
科目コード	6478000	配当学年	大学院	授業形式	研究	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜 時 限	水・3	教室	第3演習室
授 業 内 容							
<p>生涯発達心理学とその研究方法にかかわる各自の研究テーマに即した研究発表と文献講読を行う。研究発表においては、問題、目的、方法、結果、考察すべてに関して、各自の研究を具体的にすすめながら討議する。なお、大学院の授業ではあるが、「発達教育分野」（生涯発達心理学等）で卒業論文を執筆する予定の学部4回生も出席して、研究発表や討議に参加することが望ましい。</p> <p>「発達教育分野」では、フィールドワークと参与観察法、インタビュー法を重視して研究を行っている。この科目は、コースワークに該当する。</p>							
テキスト 参考文献	適宜指示する。						

科目名	教育方法学研究ⅡB					担当者氏名	やまだ ようこ 遠藤利彦
英 訳	Studies of Curriculum & Instruction and Life-span Development ⅡB						
科目コード	6479000	配当学年	大学院	授業形式	研究	共用科目	
単位数	2	開講期	後期	曜 時 限	水・3	教室	第3演習室
授 業 内 容							
<p>生涯発達心理学とその研究方法にかかわる各自の研究テーマに即した研究発表と文献講読を行う。研究発表においては、問題、目的、方法、結果、考察すべてに関して、各自の研究を具体的にすすめながら討議する。なお、大学院の授業ではあるが、「発達教育分野」（生涯発達心理学等）で卒業論文を執筆する予定の学部4回生も出席して、研究発表や討議に参加することが望ましい。</p> <p>「発達教育分野」では、フィールドワークと参与観察法、インタビュー法を重視して研究を行っている。この科目は、コースワークに該当する。</p>							
テキスト 参考文献	適宜指示する。						

科目名	教育方法特論 I					担当者氏名	西岡加名恵
英 訳	Advanced Studies: Curriculum and Instruction I						
科目コード	6276000	配当学年	大学院	授業形式	特 論	共 用 科 目	学
単 位 数	2	開 講 期	前期	曜 時 限	水・3	教 室	第4演習室
授 業 内 容							
<p>「学校を基礎にしたカリキュラム編成」を行うにあたって、単元は基本的な単位となる。そこで、この特論では、単元づくりの具体的な進め方について検討する。</p> <p>主な内容は、次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリエンテーション</li> <li>○ ポートフォリオ評価法</li> <li>○ 単元の構成要素（教育目的と教育目標、教材・教具、指導過程と学習形態、教育評価）</li> <li>○ 教科における単元づくり（「逆向き設計」論） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 第1段階：求められている結果を明確にする</li> <li>▶ 第2段階：承認できる証拠を決定する</li> <li>▶ 第3段階：学習経験と指導を計画する</li> <li>▶ 「マクロの設計」と「ミクロの設計」</li> </ul> </li> </ul>							
テキスト 参考文献	参考文献 宮本浩子・西岡加名恵・世羅博昭『総合と教科の確かな学力を育むポートフォリオ評価法・実践編』日本標準、2004年。						

科目名	教育方法特論 II					担当者氏名	西岡加名恵
英 訳	Advanced Studies: Curriculum and Instruction II						
科目コード	6277000	配当学年	大学院	授業形式	特 論	共 用 科 目	学
単 位 数	2	開 講 期	後期	曜 時 限	水・3	教 室	第4演習室
授 業 内 容							
<p>この特論では、教育方法特論 I に引き続き、単元づくりの具体的な進め方について検討する（教育方法特論 I・II をあわせて受講することを原則とする）。また、学校見学も予定している。</p> <p>主な内容は、次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教科の単元づくり（「逆向き設計」論） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 国語科</li> <li>▶ 社会科</li> <li>▶ 算数・数学科</li> <li>▶ 理科 など</li> </ul> </li> <li>○ 総合学習における単元づくり</li> <li>○ 学校における単元づくりの実際</li> </ul> <p>なお、この科目は、コースワークに該当する。</p>							
テキスト 参考文献	参考文献 宮本浩子・西岡加名恵・世羅博昭『総合と教科の確かな学力を育むポートフォリオ評価法・実践編』日本標準、2004年。						

科目名	教育方法特論 III					担当者氏名	山崎 準二
英 訳	Advanced Studies: Curriculum and Instruction III						
科目コード	—	配当学年	大学院	授業形式	特 論	共 用 科 目	学
単 位 数	2	開 講 期	前期	曜 時 限	集中	教 室	
授 業 内 容							
<p>「ライフコースアプローチに基づく教師の発達と力量形成」を中心テーマとしながら、さらに幅広く今日の教師教育（養成・採用・研修）をめぐる動向と課題、教師教育研究の課題などについても講ずる。</p> <p>全体の主な構成は次のようである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教師のライフコース研究とは何か</li> <li>2. 第1回調査（1984）～第3回調査（1994）までの総括とその後の10年（第4、5回調査結果）における特徴分析</li> <li>3. 今日の教師教育をめぐる動向と課題</li> <li>4. 教師教育研究の課題</li> </ol> <p>以上</p>							
テキスト 参考文献	テキストは用いないが、主な参考文献として、山崎準二『教師のライフコース研究』（創風社、2002）、同編著『教師という仕事・生き方』（日本標準、2005）。その他の文献・資料に関しては必要に応じて随時配布する。						

科目名	発達教育特論 I					担当者氏名	やまだ ようこ 遠藤利彦
英訳	Advanced Studies: Human Development I						
科目コード	6463000	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	学
単位数	2	開講期	前期	曜時限	水・1	教室	320
授 業 内 容							
<p>「発達教育分野」（生涯発達心理学等）において修士論文および博士論文を作成するための専門的な指導を行う。また、併せて、それらに関わる理論および先行研究の批判的レビューや高度な方法論の習得なども視野に入れ、生涯発達心理学のエキスパートの養成を目指す。さらに、本授業の一環として「発達教育分野」（生涯発達心理学等）で卒業論文を執筆する学部4回生についても論文指導を行う。大学院生はその学部生の論文指導に補助的に関わることを通して、将来的に、大学等の高等教育機関において専門教育を行う際の、基礎トレーニングを積むものとする。</p> <p>なお、本授業は後期に開講される発達教育特論Ⅱと併せて履修することを原則とする。</p>							
テキスト参考文献	適宜指示する。						

科目名	発達教育特論 II					担当者氏名	やまだ ようこ 遠藤利彦
英訳	Advanced Studies: Human Development II						
科目コード	6464000	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	学
単位数	2	開講期	後期	曜時限	水・1	教室	320
授 業 内 容							
<p>「発達教育分野」（生涯発達心理学等）において修士論文および博士論文を作成するための専門的な指導を行う。また、併せて、それらに関わる理論および先行研究の批判的レビューや高度な方法論の習得なども視野に入れ、生涯発達心理学のエキスパートの養成を目指す。さらに、本授業の一環として「発達教育分野」（生涯発達心理学等）で卒業論文を執筆する学部4回生についても論文指導を行う。大学院生はその学部生の論文指導に補助的に関わることを通して、将来的に、大学等の高等教育機関において専門教育を行う際の、基礎トレーニングを積むものとする。</p> <p>なお、本授業は前期に開講される発達教育特論Ⅰと併せて履修することを原則とする。</p>							
テキスト参考文献	適宜指示する。						

科目名	発達教育特論 III					担当者氏名	榊原 洋一
英訳	Advanced Studies: Human Development III						
科目コード	—	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	学
単位数	2	開講期	前期	曜時限	集中	教室	
授 業 内 容							
<p>子どもの発達、臨界期、3歳児神話（Child Development, critical period and the myth of the first 3 years）</p> <p>近年の発達科学、小児医学、発達心理学における子どもの発達についての知見の蓄積には著しいものがある。特に脳画像イメージングなどの脳科学的な手法の飛躍的な発展は、子どもの発達を理解する新しいパラダイムとして多くの新しい知見をもたらしている。しかしその一方そうした知見を実際の子どもの発達に結びつける際に、論理的な飛躍をおかしてしまうことが多い。そうした論理的飛躍を批判的に読み解くことを主眼とする。</p>							
テキスト参考文献	テキストは使用しません。参考文献として、「子どもの脳の発達 臨界期・敏感期」講談社プラスα新書 榊原洋一						

科目名	教育方法演習 I					担当者氏名	田中耕治 西岡加名恵
英訳	Seminar on Curriculum and Instruction I						
科目コード	6457000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	学
単位数	2	開講期	前期	曜時限	火・4	教室	第3演習室
授 業 内 容							
<p>この演習では、主に卒業論文、修士論文の指導を中心として、各自の課題意識に従って、理論的・実証的研究成果を発表し、それに基づく共同の論議の中から、さらなる理論的・実証的探求が生み出されていくことをめざすものである。</p> <p>とりわけ演習 I では、発表者は、先行研究の到達点をふまえて、テーマや仮設の設定を中心にして、詳しいレジュメを事前に準備する必要がある。また、当日に発表しない者も、研究方法ならびに論文作成能力の向上を期して、この検討論議に積極的に参加することが求められる。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	教育方法演習 II					担当者氏名	田中耕治 西岡加名恵
英訳	Seminar on Curriculum and Instruction II						
科目コード	6458000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	学
単位数	2	開講期	後期	曜時限	火・4	教室	第3演習室
授 業 内 容							
<p>演習 I に引き続いて、この演習では、主に卒業論文、修士論文の指導を中心として、各自の課題意識に従って、理論的・実証的研究成果を発表し、それに基づく共同の論議の中から、さらなる理論的・実証的探求が生み出されていくことをめざすものである。</p> <p>とりわけ演習 II では、発表者は、完成稿を念頭において、詳しいレジュメを事前に準備する必要がある。また、当日に発表しない者も、研究方法ならびに論文作成能力の向上を期して、この検討論議に積極的に参加することが求められる。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	発達教育演習 I					担当者氏名	やまだ ようこ
英訳	Seminar on Human Development I						
科目コード	6461000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	学
単位数	2	開講期	前期	曜時限	水・4	教室	第3演習室
授 業 内 容							
<p>&lt;ライフストーリー・インタビュー&gt; —語りやライフストーリーを、インタビューでどのようにとらえるか、どのように分析するか?—</p> <p>「物語的転換」と呼ばれる広義のナラティブ・アプローチ、ライフストーリー研究のテキストを中心にして、最新の研究書や論文も交えて読みながら、その基本的な考え方と方法論を学ぶ。</p> <p>「語り」データをどのようにインタビューでとらえるのか、「語り」データをどのように分析するのか、「語り」から何を見いだしていくのか、質的データの分析法と研究法を学び、その具体例から「語り」そのものもっているおもしろさを味わうことができること（「意味」という日本語に「味」という字が含まれていることの深い含蓄を味わってほしい）、これがこの授業の一番おきなねらいである。</p> <p>語り研究においては、〈もの見方の革命〉（認識論）と、〈アプローチの方法〉（方法論）は、深い相互関連がある。</p> <p>広く「ことば」とは何か？あるいは「人生」とは何か？に関心をもち、ことばで語るという「意味づける行為」をフィールドで身をもって経験的にとらえてみたいという方の積極的参加を期待する。</p> <p>最近大きな注目をあびている「質的心理学の研究法」について実践的に学ぶためには、本論と併せて「教育方法基礎演習 I A」を受講し、実際にインタビュー法の実習を行うことによって、さらに理解が深まるであろう。</p>							
テキスト 参考文献	桜井厚・小林多寿子編 2005「ライフストーリー・インタビュー：質的研究入門」せりか書房 「質的心理学研究」1, 2, 3, 4, 5号（新曜社）						

科目名	発達教育演習 II					担当者氏名	遠藤利彦
英訳	Seminar on Human Development II						
科目コード	6462000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	学
単位数	2	開講期	後期	曜時限	水・4	教室	第3演習室
授 業 内 容							
<p>生涯発達心理学の展開を俯瞰する上で不可欠となる基本文献を精読した上で、関心を共有する数名の者からなる小グループに分かれ、それぞれが、これからの生涯発達研究においては何か必要となるのかを深く考察し、オリジナリティの高い特定の研究テーマを設定する。そして、そのテーマに沿って先行研究の批判的なレビューおよび具体的な方法・手続きを伴う研究計画の立案を行う（場合によっては小規模の予備的データの収集を行う）。この演習の目的は、現代生涯発達心理学のホットなトピックを見極めることと時代の先を読んで新しい研究テーマを切り開く感性やスキルを身につけることであり、また文献レビューの方法や研究デザインの組み方等について具体的な示唆を得ることである。</p>							
テキスト参考文献	授業時に適宜指示する。						

科目名	高等教育開発論研究 A					担当者氏名	田中 毎実 大松 塚代 大溝 下山 大溝 山上 大溝 泰慎
英訳	Studies of Higher Education A						
科目コード	6333000	配当学年	大学院	授業形式	研究	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜時限	水・2	教室	楽友会館
授 業 内 容							
<p>この講義では、高等教育研究開発推進センターのスタッフが、わが国の高等教育の現状に資する高等教育論の最新の展開を体系的に示し、これらを様々な角度から検討する。この授業の意図は、高等教育の現状や課題を、例えば制度や歴史や比較などといった第三者的な「外側」の観点から論ずることにあるのではない。むしろ、「大学の教育はどうあるべきか」という私たちの切実な実践的関心に導かれて、ほかならぬ私たち自身が生息している「内部」を探求しようというものである。</p> <p>したがって、私たちは、教授法や教育評価のシステムの開発という実践的問題から出発して、高等教育の総合的全体の把握という原理的問題に至り、再び実践的問題に戻るといって、往復運動を繰り返すつもりである。このような、いわば「反省的な」作業によって、高等教育の全体の輪郭が浮き彫りになるであろう。</p> <p>本授業の受講者は、本年度後期開講の高等教育開発論研究Bをあわせて受講することが望ましい。</p>							
テキスト参考文献	必要に応じて、授業中に指示する。						

科目名	高等教育開発論研究 B					担当者氏名	田中 毎実 大松 塚代 大溝 下山 大溝 山上 大溝 泰慎
英訳	Studies of Higher Education B						
科目コード	6334000	配当学年	大学院	授業形式	研究	共用科目	
単位数	2	開講期	後期	曜時限	水・2	教室	楽友会館
授 業 内 容							
<p>高等教育開発論研究Iをさらに発展させ、教授法開発論、教育課程論、教育評価論を初め、学生サポート、遠隔教育、教育メディア開発など、高等教育研究においてとりわけ重要である分野に関して、総合的に研究を行う。必要に応じて、修士論文などの論文指導、および学会発表などの指導を加味する。</p> <p>いずれも、単なる理念的なものにとどまらず、実際に授業観察に関わったり、授業研究に参加したりなど、実践のフィールドを通して、研究の深化を目指す。</p> <p>本授業の受講者は、本年度前期開講の高等教育開発論研究Aをあわせて受講することが望ましい。</p>							
テキスト参考文献	必要に応じて、授業中に指示する。						

科目名	教育認知心理学研究Ⅰ・Ⅱ					担当者氏名	楠見孝 吉川左紀子 子安増生智 齊藤智
英訳	Colloquium on Cognitive Psychology in Education I・II						
科目コード	(Ⅰ) 7410000 (Ⅱ) 7411000	配当学年	大学院	授業形式	研究	共用科目	
単位数	各2	開講期	前・後期	曜時限	金・2	教室	第2演習室
授 業 内 容							
<p>教官、院生が行っている最新の研究成果や関連領域の文献を発表し、相互に議論することを通じて各自の研究内容を深め、多様な専門領域についての幅広い知識の習得をめざす。</p> <p>自分の研究テーマを時間軸（過去から現在への研究の流れ）と空間軸（近隣する他の研究領域との関わり）上に位置づけ、再吟味することによって、新たな研究の方向性を見出すことが期待される。</p> <p>各自の研究テーマについて、より高い水準に到達すべく考えを深めること、さまざまな専門分野の最新の研究動向を理解すること、および自分の研究内容を興味深く、分かりやすく報告するスキルと建設的なディスカッションを行う態度を身に付けることが本授業の目的である。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	心理・教育測定特論					担当者氏名	狩野裕
英訳	Advanced Studies: Psychological and Educational Measurement						
科目コード	—	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜時限	集中	教室	
授 業 内 容							
<p>共分散構造分析（構造方程式モデリング）の基礎と応用を講述する。以下の内容を予定している：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共分散構造分析の概観</li> <li>2. 共分散構造モデルの記述</li> <li>3. 出力の読み方</li> <li>4. 検証的因子分析</li> <li>5. 多母集団の分析</li> <li>6. 経時データの分析</li> <li>7. 共分散構造分析と統計的因果推論</li> </ol>							
テキスト 参考文献	特に指定しない。講義資料を配布する。						

科目名	認知発達特論					担当者氏名	熊谷高幸
英訳	Advanced Studies: Cognitive Development						
科目コード	—	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜時限	集中	教室	
授 業 内 容							
<p>授業概要：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間の認知発達を、私とあなたと共有対象という、三項関係の枠組みの構造的な発展という観点から追跡する。その際、熊谷が提案する三項関係の発達モデル（下記文献参照）を他の多くの研究や幼児の観察データと関連づけながら論じていく。</li> <li>2. 上記の問題を論ずるにあたり、このような関係がとりわけ成り立ちにくい自閉症スペクトラムの人々の事例を多数紹介し、その中で、三項関係の枠組みとその発達モデルが、理論的にも治療教育の実践上でもなぜ必要なのかを説明していく。</li> <li>3. 近年、健常幼児においても、自閉症スペクトラムの子どもにおいても、その認知発達にとって重要な問題と考えられている「心の理論」の形成の問題を、上記の三項関係の枠組みと関連させながら論じていく。</li> </ol> <p>成績評価：授業への参加状況と試験またはレポートによって評価する。</p>							
テキスト 参考文献	参考文献：熊谷高幸（2006）自閉症 — 私とあなたが成り立つまで、ミネルヴァ書房						

科目名	記憶・学習論					担当者氏名	山内隆史
英訳	Memory and Learning						
科目コード	—	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	学
単位数	2	開講期	後期	曜時限	集中	教室	
授 業 内 容							
<p>認知科学、認知神経科学から見た“意味”についての考察  Concept Formation: An Overview from Cognitive Science  わたしたちが、日常使う物事や出来事には、いつも何かしらの、“意味”がついています。その“意味”に基づいて、わたしたちは、様々な決断をくだしたり、行動したりするわけですが、いったい、その“意味”というのは、どのような形で創られ、そして、伝達されるのでしょうか？ 本講では、このような素朴な疑問について、認知科学、認知神経科学の観点から、考察してみたいと思います。</p>							
テキスト参考文献	Behavioral and Brain Sciences/ Psychological Review/ Journal of Experimental Psychology: General/ Journal of Cognitive Neuroscience/ Cognitive Psychology/ Cognition						

科目名	認知心理学特論Ⅱ					担当者氏名	荻阪直行
英訳	Advanced Studies: Cognitive Psychology II						
科目コード	7218000	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	他
単位数	2	開講期	後期	曜時限	火・5	教室	文学部新館第4講義室
授 業 内 容							
<p>ワーキングメモリの情報統合における注意の機能の問題を認知的制御の観点からとらえ、物体認知や言語認知について考える。とくに、高次脳における高次視覚野、頭頂連合野、前頭前野と前部帯状回の役割を中心にみてゆく予定である。</p>							
テキスト参考文献	文献：荻阪直行（編）脳とワーキングメモリ，京大学術出版会（2000）						

科目名	認知心理学特論Ⅲ					担当者氏名	藤田和生
英訳	Advanced Studies: Cognitive Psychology III						
科目コード	7219000	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	他
単位数	2	開講期	前期	曜時限	水・2	教室	文学部新館第6講義室
授 業 内 容							
<p>十種の動物がいれば十の心がある。心はいかに進化したのか、ヒトの独自性はどこにあるのか、といった問題を、比較認知研究における最新のトピックスについて解説しながら考察する。基礎知識として「比較認知科学への招待」（藤田著，ナカニシヤ出版，1998）を一読してもらいたい。毎時間、討論の時間を設ける。そこでは、過去の研究への批判よりも、新たな仮説や新たな問いの導出とその検証方法の模索といった発展的で建設的な討論をおこないたい。討論への積極的な参加を期待する。</p>							
テキスト参考文献	「比較認知科学への招待」（藤田著，ナカニシヤ出版，1998）						



科目名	認知心理学特論 IV					担当者氏名	櫻井芳雄
英訳	Advanced Studies: Cognitive Psychology IV						
科目コード	7222000	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	他
単位数	2	開講期	後期	曜時限	水・2	教室	文学部新館第4講義室
授 業 内 容							
<p>脳の情報処理を担う神経回路網のメカニズムについて、最新の実験的研究に基づき解説する。特に、情報コーディング、シナプス可塑性、個性形成、等に焦点を当て、脳独特の柔軟性とそれを検出するための研究ストラテジーについて考察する。</p>							
テキスト参考文献	主要参考書：「考える細胞ニューロン」（櫻井芳雄著，講談社，2002）						

科目名	認知心理学特論 V					担当者氏名	板倉昭二
英訳	Advanced Studies: Cognitive Psychology V						
科目コード	7223000	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	他
単位数	2	開講期	後期	曜時限	水・3	教室	文学部新館第4講義室
授 業 内 容							
<p>近年、乳幼児研究の進展には目覚ましいものがあり、発達初期の乳児でも極めて優れた認知能力を持つことが示されてきた。本講義では、人間の発達を、乳幼児期に焦点を当てて解説する。特に、物理的世界の認識および社会的世界の認識の発達のプロセスやメカニズムについて討論をおこない、理解を深める。</p>							
テキスト参考文献							

科目名	認知心理学特論 VI					担当者氏名	乾敏郎
英訳	Advanced Studies: Cognitive Psychology VI						
科目コード	7227000	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	他
単位数	2	開講期	前期	曜時限	月・2	教室	工学部2号館101講義室
授 業 内 容							
<p>人間の主な感覚、知覚、認知機能を概括し、その脳内メカニズム（神経機構）について考察する。あわせて、ニューラルネットワークモデルや計算理論についても紹介する。</p>							
テキスト参考文献							



科目名	認知心理学特論 VII					担当者氏名	蘆田 宏
英 訳	Advanced Studies: Cognitive Psychology VII						
科目コード	7235000	配当学年	大学院	授業形式	特 論	共 用 科 目	他
単 位 数	2	開 講 期	前期	曜 時 限	火・5	教 室	文学部新館第3 演習室
授 業 内 容							
<p>視覚科学 (vision science) の方法と成果について、心理物理学とニューロイメージングの方法論を中心に、基礎から最近の展開まで論じる。主なトピック：視覚の線形性とフーリエ解析、時空間特性、心理物理学的測定とその発展、fMRI による視覚野の解析、fMRI 研究の発展、初期視覚の数理モデル、など</p>							
テキスト 参考文献	授業で指示						

科目名	認知心理学特論 VIII					担当者氏名	宮谷 真人
英 訳	Advanced Studies: Cognitive Psychology VIII						
科目コード	—	配当学年	大学院	授業形式	特 論	共 用 科 目	他・学
単 位 数	2	開 講 期	前期	曜 時 限	集中	教 室	文学研究科
授 業 内 容							
<p>人間の認識を支える知覚、注意、記憶、言語などの心のはたらきについて、それらを実現する機構の一つであるワーキングメモリとの関連を中心に論じる。当該領域における代表的な論文をとりあげ、心のしくみへのアプローチ法と、その成果を紹介する。それらの知見に基づき、ワーキングメモリ概念の有用性などについて考察する。</p>							
テキスト 参考文献	テキストは使用しない。参考文献は講義で紹介する。						

科目名	認知心理学特論 X					担当者氏名	中村 克樹
英 訳	Advanced Studies: Cognitive Psychology X						
科目コード	—	配当学年	大学院	授業形式	特 論	共 用 科 目	他・学
単 位 数	2	開 講 期	後期	曜 時 限	集中	教 室	文学研究科
授 業 内 容							
<p>ヒトには、他の動物にみられない非常に高度に進化したコミュニケーション能力がある。ヒトのどのような能力が、この差を生み出したのだろうか。この講義では、ヒトのすぐれたコミュニケーション能力を、乳幼児やヒト以外の霊長類のコミュニケーションを考えながら考察する。また、コミュニケーションを実現している脳構造についても考える。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	認知心理学特論 XI					担当者氏名	八木 昭宏
英 訳	Advanced Studies: Cognitive Psychology XI						
科目コード	7421000	配当学年	大学院	授業形式	特 論	共 用 科 目	他・学
単 位 数	4	開 講 期	通 年	曜 時 限	木・3, 4 (第1, 3, 5週)	教 室	文学部新館第6講義室
授 業 内 容							
<p>心理生理学 (psychophysiology) は、認知や情動など人の心理活動を生理的な指標を用いて研究する科学である。生理指標としては、心拍や皮膚の電気活動等の自律反応が、従来多く用いられてきた。近年、脳電位、MEG、fMRI、NIRS など中枢の活動も扱われているが、それぞれ、一長一短がある。前半には、心理生理学の様々な概念の紹介と、「知覚」「注意」「ストレス」などの研究事例と新しい計測法について講義する。</p> <p>後半には、心理工学について紹介する。心理生理学を中心に心理生理学と工学との関係や、心理生理学に限らず心理学の成果と手法を工学や産業場面に応用する方法と事例について講義を行う。実験室内と異なり実際の産業現場での計測には、様々な困難が伴う、それに対する解決策と、あらたな計測技術の開発について講義する。</p>							
テキスト 参考文献	八木昭宏著「知覚と認知」培風館, 宮田洋監修, 新生理心理学, I, II, III, 北大路書房						

科目名	教育心理過程論演習 I・II					担当者氏名	子安 増生
英 訳	Seminar on Educational Psychology I・II						
科目コード	(I) 7422000 (II) 7423000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共 用 科 目	
単 位 数	各2	開 講 期	前・後期	曜 時 限	金・1	教 室	第2演習室
授 業 内 容							
<p>広い意味での教育心理過程を研究する大学院生を対象とし、修士課程の大学院生には修士論文作成に向けて、博士後期課程の大学院生には博士論文またはその基礎となる論文作成に向けて、実験計画、データ分析、論文執筆などの指導をめざしたチュートリアル的色彩の強い演習を行う。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	認知過程論演習 I・II					担当者氏名	吉川 左紀子
英 訳	Seminar on Cognitive Processes I・II						
科目コード	(I) 7226000 (II) 7225000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共 用 科 目	
単 位 数	各2	開 講 期	前・後期	曜 時 限	金・1	教 室	第3演習室
授 業 内 容							
<p>広い意味での認知過程を研究する大学院生を対象とし、修士課程の大学院生には修士論文作成に向けて、博士後期課程の大学院生には博士論文またはその基礎となる論文作成に向けて、実験計画、データ分析、論文執筆などの指導をめざしたチュートリアル的色彩の強い演習を行う。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	学習・思考論演習Ⅰ・Ⅱ					担当者氏名	楠見孝
英訳	Seminar on Learning and Thinking I・II						
科目コード	(Ⅰ) 7230000 (Ⅱ) 7231000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	各2	開講期	前・後期	曜時限	金・1	教室	第1演習室
授 業 内 容							
<p>広い意味での学習・思考論を研究する大学院生を対象とし、修士課程の大学院生には修士論文作成に向けて、博士後期課程の大学院生には博士論文またはその基礎となる論文作成に向けて、実験計画、データ分析、論文執筆などの指導をめざしたチュートリアル的色彩の強い演習を行う。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	記憶・認知論演習Ⅰ・Ⅱ					担当者氏名	齊藤智
英訳	Seminar on Memory and Cognition I・II						
科目コード	(Ⅰ) 7243000 (Ⅱ) 7244000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	各2	開講期	前・後期	曜時限	金・1	教室	第4演習室
授 業 内 容							
<p>広い意味での記憶・認知過程を研究する大学院生を対象とし、修士課程の大学院生には修士論文作成に向けて、博士後期課程の大学院生には博士論文またはその基礎となる論文作成に向けて、実験計画、データ分析、論文執筆などの指導をめざしたチュートリアル的色彩の強い演習を行う。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	教育認知心理学演習Ⅰ・Ⅱ					担当者氏名	子安増生
英訳	Seminar on Cognitive Psychology I・II						
科目コード	(Ⅰ) 7431000 (Ⅱ) 7432000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	学
単位数	各2	開講期	前・後期	曜時限	金・3	教室	第一講義室
授 業 内 容							
<p>院生と学部生の相互交流を軸として学習と研究を行う課題演習である。具体的には、教育認知心理学を専攻する院生を中心にして、その院生の提案する研究テーマに関心を持つ学部生の研究グループを作り、チューターである院生の指導のもとに研究を実施する。前期は班活動ならびに講演を中心とする。後期に各グループが研究成果を発表し、その内容について議論する。院生は学部生の研究指導を通して研究者としての資質を高め、将来に備えることが期待される。学部生は、認知心理系であれ臨床心理系であれ、将来卒業論文を作成したり大学院に進学して研究を行ったりするうえで必須の知識やスキルの重要な部分を獲得することが期待される。講演と研究成果発表の時は、コメント・カードに感想を記入することで、発表者へのフィードバックならびに出席確認を行う。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	心理データ解析演習					担当者氏名	楠見孝
英訳	Seminar on Analysis of psychological Data						
科目コード	7245000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜時限	水・2	教室	2階計算機室
授 業 内 容							
<p>本演習では、認知構造やプロセスを明らかにするための方法として、データ解析法とシミュレーションの技法を、最新の文献、ソフトウェア(SPSSなど)に基づいて検討する。さらに、各自の収集したデータを解析し、モデル化することを目指す。具体的には、</p> <p>(1) 認知構造の解明：因子分析、クラスター分析、多次元尺度解析、主成分分析など</p> <p>(2) 認知プロセスの検討：回帰分析、判別分析、共分散構造分析など</p> <p>(3) 実験データの解析：検定力分析、分散分析、共分散分析、多変量分散分析、ノンパラメトリック検定、ロジスティック回帰分析、時系列分析など</p> <p>(4) 質問紙データの分析：共分散構造分析、多母集団同時分析、数量化理論、コンジョイント分析など</p> <p>(5) テキスト(自由記述や連想)データの分析：テキストマイニング、対応分析</p> <p>(6) データの視覚化(visualization)：探索的データ解析(EDA)など</p> <p>(7) ニューラルネットワークや進化シミュレーションによるモデル化</p> <p>(8) メタ分析</p> <p>などのテーマを取り上げたい。各自の関心に応じて他の解析法、ソフトウェア、シミュレーション技法、実験プログラムを取り上げてよい。手法ごとに(1)背景となる文献の紹介、(2)利用法の説明・デモ、できれば、(3)自分たちのデータを利用した結果を紹介する。最終的には、取り上げたすべての手法について、自分のデータを使って研究できるようにすることを目指す。</p>							
テキスト参考文献	授業中に指示。http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/cogpsy/kusumi/の授業ページに掲載する						

科目名	認知科学演習					担当者氏名	乾敏郎
英訳	Seminar on Cognitive Science						
科目コード	7424000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	他
単位数	2	開講期	後期	曜時限	月・3	教室	工学部2号館120号室
授 業 内 容							
<p>認知科学、特に視覚認知に関する実験的、理論的研究の中から各学生の研究テーマにとって重要な研究を紹介し、認知科学研究の現状と問題点を議論する。</p>							
テキスト参考文献							

科目名	教育社会学研究					担当者氏名	岩井八郎 稲垣恭子
英訳	Studies on Sociology of Education						
科目コード	7457000	配当学年	大学院	授業形式	研究	共用科目	
単位数	4	開講期	通年	曜時限	水4・5(隔週)	教室	小集団
授 業 内 容							
<p>各自の研究成果と教育社会学の最新の研究動向について互いに報告しながら、教育社会学における新しい研究領域と研究方法について検討をおこなう。各自の報告を基に、多様な理論と方法について理解を深め、その有効性について議論するなかで、各自の研究が深められることが期待される。また教育社会学研究をより広い学問的視野からとらえなおし、新しい研究対象や方法の可能性についても探っていききたい。授業での研究経過の報告をもとにして、成果として公表できるものにしていくことがのぞまれる。</p>							
テキスト参考文献							

科目名	学 校 臨 床 学 演 習					担 当 者 氏 名	皆 藤 章 桑 原 知 子 矢 野 智 司
英 訳	Clinical Study on School						
科目コード	—	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共 用 科 目	
単 位 数	2	開 講 期	前 期	曜 時 限	集 中	教 室	
授 業 内 容							
<p>本演習の受講にあたっては、守秘義務などの倫理規定の遵守を必要とするため、受講希望者は、あらかじめ担当教官（皆藤章）の了承を得なければならない。</p> <p>基本的に、受講者が報告する「事例」をもとに進めていく「事例研究」のスタイルで行う。ここで言う「事例研究」とは、臨床心理学が伝統的に行ってきたスタイルをかみならずも意味しない。本演習では、「日常に人間の営み」を照射する臨床教育学の立場から、学校現場で生じているさまざまな事態そのものが「事例」であるという認識に立って、学校現場における生徒との個々のやりとりから、広く学校という人間集団が抱える場の機能に到るまで、裾野を広くとって実践的な議論を行っていきたい。いわば、「学校」がひとつの「事例」であるということができ。</p> <p>受講生は全員、上に述べた意味での「事例」を提供できることが必要である。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	臨 床 教 育 学 課 題 演 習 I					担 当 者 氏 名	藤 川 信 夫
英 訳	Topical Seminar on Clinical Pedagogy I						
科目コード	8451000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共 用 科 目	
単 位 数	2	開 講 期	前 期	曜 時 限	月・2	教 室	320
授 業 内 容							
<p>この課題演習では、ドイツの教育哲学者D. レンツェンの1991年の著作『フィクションとしての病』をテキストとして、20世紀末に新たに誕生したいくつかの医療部門あるいはそれに関わる言説の文化的含意（教育学的含意を含む）について考察し、討論を行う。</p> <p>具体的には、このテキストの章立てに即して、以下の医療部門ないし医療言説を取り上げる。</p> <p>(1) 周産期医療、(2) 顎整形外科（歯列矯正）、(3) エイズ言説、(4) 体外受精、(5) アンチ・コレステロール・キャンペーン、(6) 人工妊娠中絶、(7) 死の援助。</p> <p>そこから、これらの部門あるいはこれに関わる言説の、社会的含意、人間学的含意、宗教的含意について考察する。演習では、受講者に各章を割り当て、レジュメを作成してもらい、これをもとに討論を行う。評価は、演習への参加の度合いと、学期末のレポートをもとに行う。</p>							
テキスト 参考文献	Dieter Lenzen: Krankheit als Erfindung. Medizinische Eingriff in die Kultur. Frankfurt am Main, 1991. なお演習では、担当者による邦訳テキストを主として用い、必要箇所はその都度配布する。						

科目名	心 理 臨 床 学 研 究					担 当 者 氏 名	岡 田 康 伸 河 合 俊 雄 桑 原 知 子 田 中 康 裕
英 訳	Studies on Clinical Psychology						
科目コード	8494000	配当学年	大学院	授業形式	研 究	共 用 科 目	
単 位 数	4	開 講 期	通 年	曜 時 限	月・2	教 室	第5演習室
授 業 内 容							
<p>心理臨床の実践に基づき、調査研究などの方法も用いて、研究につなげていく方向をさぐる。また、博士學位論作成に向けての指導を行う。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	心理臨床学特論 I					担当者氏名	桑原知子
英訳	Advanced Studies: Clinical Psychology I						
科目コード	8510000	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜時限	水・1	教室	第2演習室
授 業 内 容							
<p>自験例をもとに、「ケースから学んだこと」を伝えたい。</p> <p>① イントロダクション／オリエンテーション</p> <p>②, ③ ケース1 (主なテーマ) ‘わかる’ こと, ‘わかれ’</p> <p>④, ⑤ ケース2 “ 夢あるいはイメージ</p> <p>⑥, ⑦ ケース3 “ ‘悪’ と向かいあうこと</p> <p>⑧, ⑨ ケース4 “ ‘死’ と向かいあうこと</p> <p>⑩, ⑪ ケース5 “ 宗教性について</p> <p>⑫ まとめ</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	臨床心理学特論					担当者氏名	本多雅子
英訳	Advanced Studies: Psychotherapy						
科目コード	—	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	学
単位数	2	開講期	後期	曜時限	集中	教室	
授 業 内 容							
<p>ロールシャッハテストの創始者H. ロールシャッハが、1921年にその研究論文「精神診断学：知覚にもとづく診断テスト」を出版してから84年が経っている。第1日目は、H. ロールシャッハ以後のロールシャッハテストの発展を概観し、現在日本で用いられている主だったロールシャッハ技法について簡略に解説する。</p> <p>2日目は、講師の用意した事例のロールシャッハテスト（片口法による）の解釈を中心に演習を行う。</p> <p>3日目は、前日の演習をふまえて、ロールシャッハテストの意義、功罪等を考えた上で、様々な臨床場面での生かし方や他の心理テストとの組合せ方等、実践的な事柄にも触れる予定である。</p> <p>受講生は、ロールシャッハテストの実施から基本的な解釈までの経験のあることが望ましい。</p>							
テキスト 参考文献	改訂、新心理診断法 片口安史著 金子書房 ロールシャッハ・テストの体験的基礎 シャハテル著 空井・上芝訳 みすず書房						

科目名	心理療法特論					担当者氏名	丸田俊彦
英訳	Advanced Studies: Psychotherapy						
科目コード	—	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜時限	集中	教室	
授 業 内 容							
<p>自己心理学と間主観性 Self Psychology and Intersubjectivity</p> <p>授業内容 自我心理学から袂を分かった自己心理学は、その後、間主観性理論へと展開を遂げた。その軌跡を辿る。</p>							
テキスト 参考文献	「コフォート理論とその周辺」, 「間主観的感性」, 「間主観的アプローチ」, 「間主観性の軌跡」(岩崎学術出版社)						

科目名	臨床心理学演習					担当者氏名	河田大青 合中山木原上 俊康 泰健 保嘉津 雄裕 宏次 史子
英訳	Colloquium on Clinical Psychology						
科目コード	8701000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	4	開講期	通年	曜時限	水・3	教室	第2演習室
授 業 内 容							
<p>臨床心理学コロキウム 臨床心理学における研究を具体的に進めるために、実際的な問題を個別に検討しあう演習であり、論文指導も含む。院生の修士論文、博士論文への展望が重視される。又、内外の招待講師による諸説を組むこともある。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	心理臨床実践学演習 I					担当者氏名	藤原勝紀 角野善宏
英訳	Seminar on Case Studies I						
科目コード	8788000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜時限	水・4, 5	教室	文学部東館第3実習室
授 業 内 容							
<p>本研究科の附属心理教育相談室への来談事例を通して、臨床実践のための理論と方法の問題を具体的に取り上げる。心理療法において遭遇する様々な問題を対象化して深めていくことも考えたい。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	心理臨床実践学演習 II					担当者氏名	皆藤章 田中康裕
英訳	Seminar on Case Studies II						
科目コード	8497000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜時限	水・4, 5	教室	266演習室
授 業 内 容							
<p>本研究科の附属心理教育相談室への来談事例を通して、臨床実践のための理論と方法の問題を具体的に取り上げる。表現療法やイメージ療法の視点からも考えていきたい。</p>							
テキスト 参考文献							



科目名	心理臨床実践学演習Ⅲ					担当者氏名	河合俊雄 桑原知子
英訳	Seminar on Case Studies III						
科目コード	8498000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜時限	水・4, 5	教室	文学部東館第2実習室
授 業 内 容							
<p>本研究科の附属心理教育相談室への来談事例を通して、臨床実践のための理論と方法の問題を具体的に取り上げる。 心理療法における関係性の問題や事例の展開についても考えていきたい。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	心理臨床実践学演習Ⅳ					担当者氏名	岡田康伸 皆藤章
英訳	Seminar on Case Studies IV						
科目コード	8499000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	2	開講期	後期	曜時限	水・4, 5	教室	266演習室
授 業 内 容							
<p>本研究科の附属心理教育相談室への来談事例を通して、臨床実践のための理論と方法の問題を具体的に取り上げる。 遊戯療法、箱庭療法などの心理療法であられるイメージについても重点的に扱いたい。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	心理臨床実践学演習Ⅴ					担当者氏名	藤原勝紀 田中康裕
英訳	Seminar on Case Studies V						
科目コード	8513000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	2	開講期	後期	曜時限	水・4, 5	教室	文学部東館第3実習室
授 業 内 容							
<p>本研究科の附属心理教育相談室への来談事例を通して、臨床実践のための理論と方法の問題を具体的に取り上げる。 心理療法の場に生じる言葉や語りに耳を傾けて、考えていきたい。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	心理臨床実践学演習 VI					担当者氏名	伊藤良子 角野善宏
英訳	Seminar on Case Studies VI						
科目コード	8514000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	2	開講期	後期	曜時限	水・4, 5	教室	文学部東館第2実習室
授 業 内 容							
<p>本研究科の附属心理教育相談室への来談事例を通して、臨床実践のための理論と方法の問題を具体的に取り上げる。 心理療法、遊戯療法などを通して、治療者－クライアントの関係や転移－逆転移の問題を扱い、事例の展開を読み進めて行きたい。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	心理臨床学演習					担当者氏名	岡藤伊河 田原藤合 原野中 康勝良 俊知 善康 仲紀子 雄子 章宏 裕
英訳	Seminar on Intake and Terminated Cases						
科目コード	8697000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	4	開講期	通年	曜時限	水・2	教室	会議室
授 業 内 容							
<p>インテーク・終結カンファレンス          本学研究科附属心理教育相談室で新たに受けつけられた臨床事例について報告を受け、心理査定、予後、リファラー、治療（心理療法）を含む対応の仕方について検討を行う。また、当相談室で終結したり、中断した臨床事例についても報告と検討を行う。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	心理臨床学講読演習 I					担当者氏名	河合俊雄 小林哲郎 中川純子
英訳	Reading in Clinical Psychology I						
科目コード	8691000	配当学年	大学院	授業形式	講読演習	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜時限	火・2	教室	第2演習室
授 業 内 容							
<p>心理臨床の実践と理論に関する文献について発表し、それに基づいて討論を行う。          基礎文献、最新文献、海外文献を扱う。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	心理臨床学講読演習Ⅱ					担当者氏名	田中康裕 小林哲郎 中川純子	
英訳	Reading in Clinical Psychology II							
科目コード	8692000	配当学年	大学院	授業形式	講読演習	共用科目		
単位数	2	開講期	後期	曜時限	火・2	教室	第2演習室	
授 業 内 容								
<p>心理臨床の実践と理論に関する文献について発表し、それに基づいて討論を行う。 基礎文献、最新文献、海外文献を扱う。</p>								
テキスト 参考文献								

科目名	心理臨床学基礎実習					担当者氏名	河合俊雄 和田竜太 川部哲也	
英訳	Practice to Clinical Psychology							
科目コード	8702000	配当学年	大学院	授業形式	実習	共用科目		
単位数	1	開講期	前期	曜時限	金・3, 4	教室	第5演習室	
授 業 内 容								
<p>心理・教育相談室基礎実習 臨床心理学の実践の一つとして、心理療法が挙げられるが、本実習では、心理療法を施行していくにあたって基本的な技術を獲得するための基礎について学ぶことを目的とする。 なかでも、相談申込みの受け方からはじまって、受理面接（インテーク）の手続き、面接の基本的な進め方、面接の際に配慮しなければならないこと、面接場面から現実場面に戻すにあたっての基本的心得、記録の作成と保管、ケース報告のまとめ方、報告の仕方、面接室・玩具の管理、起こりうるトラブルの対応等、心理教育相談室においてクライアントを担当する上で必要な考え方、および具体的な知識、さらに、心構えなどについて学んでいく。</p>								
テキスト 参考文献								

科目名	心理臨床学実習Ⅰ					担当者氏名	岡藤伊河 藤原桑 皆角田 田原藤合 原藤野中 康勝良 俊知 善康 伸紀子 雄子 章宏裕	
英訳	Practice in Psychotherapy I							
科目コード	8790000	配当学年	大学院	授業形式	実習	共用科目		
単位数	2	開講期	通年	曜時限	月・3, 4	教室	文学部東館	
授 業 内 容								
<p>心理療法 本学研究科附属心理教育相談室で実施されている臨床事例を中心に、それらについての心理治療・心理相談の実践を行う。</p>								
テキスト 参考文献								

科目名	心理臨床学実習ⅡA					担当者氏名	伊藤良子 角野善宏
英訳	Practice in Psychotherapy ⅡA						
科目コード	8798000	配当学年	大学院	授業形式	実習	共用科目	
単位数	1	開講期	前期	曜時限	火・3, 4	教室	文学部東館, 第3, 4実習室
授 業 内 容							
ロールプレイなどの実習を通じて、心理臨床の基本的な姿勢を体験的に学んでいく。							
テキスト 参考文献							

科目名	心理臨床学実習ⅡB					担当者氏名	河合俊雄 桑原知子
英訳	Practice in Psychotherapy ⅡB						
科目コード	8799000	配当学年	大学院	授業形式	実習	共用科目	
単位数	1	開講期	後期	曜時限	火・3, 4	教室	文学部東館, 第1, 3実習室
授 業 内 容							
実際の初回面接に同席し、心理臨床で非常に重要である初回にクライアントとどのように会っていくか、アセスメントや今後の対応にどのような展望を持てるのかを学んでいく。							
テキスト 参考文献							

科目名	心理臨床学課題演習					担当者氏名	岡藤伊河 田原藤合 原藤野中 康勝良 俊知善 康 伸紀子 雄子 章宏 裕
英訳	Seminar on Clinical Psychology						
科目コード	8795000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	4	開講期	通年	曜時限	金・5	教室	第5演習室
授 業 内 容							
COEプロジェクトとリンクした課題演習。「小児科における心理臨床」「描画」「箱庭」「遺伝カウンセリング」「学校臨床」「夢」「心身症」「質的研究法」「老人臨床」といった課題をめぐって、自発的、積極的に研究、実践を行い、心理臨床についての理解を深める。							
テキスト 参考文献							

科目名	病 院 実 習					担 当 者 氏 名	野 間 俊 一 岸 本 卓 和 田 英 須 賀 田 岡 賀 田
英 訳	Practice in Psychiatry						
科目コード	8794001	配当学年	大学院	授業形式	実 習	共 用 科 目	
単 位 数	2	開 講 期	通 年	曜 時 限	木・1, 2	教 室	京大病院
授 業 内 容							
<p>臨床実践を進めていくためには、精神医学的な知識や経験が必要となる場面が生じてくる。その際、もっとも基礎的な学び方の一つとして、精神科治療場面における診断や治療の実際の場面を現場において実習する方法がある。</p> <p>医学部において、精神科医の診療に少人数に分かれて同席し、実習するので、慎重な態度が要求される。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	病 院 実 習					担 当 者 氏 名	野 間 俊 一 岸 本 卓 和 田 英 須 賀 田 岡 賀 田
英 訳	Practice in Psychiatry						
科目コード	8794002	配当学年	大学院	授業形式	実 習	共 用 科 目	
単 位 数	2	開 講 期	通 年	曜 時 限	金・1, 2	教 室	京大病院
授 業 内 容							
<p>臨床実践を進めていくためには、精神医学的な知識や経験が必要となる場面が生じてくる。その際、もっとも基礎的な学び方の一つとして、精神科治療場面における診断や治療の実際の場面を現場において実習する方法がある。</p> <p>医学部において、精神科医の診療に少人数に分かれて同席し、実習するので、慎重な態度が要求される。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	臨 床 心 理 実 践 学 研 究					担 当 者 氏 名	伊 藤 良 子 角 野 善 宏
英 訳	Studies on Science Psychotherapy						
科目コード	8517000	配当学年	大学院	授業形式	研 究	共 用 科 目	
単 位 数	4	開 講 期	通 年	曜 時 限	月・2	教 室	文学部東館第2実習室
授 業 内 容							
<p>臨床心理実践学における研究を具体的に進めるために、実際のな問題を個別に検討しあう演習であり、論文指導も含む。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	臨床心理実践学特論					担当者氏名	リース・滝幸子 河合俊雄
英訳	Advanced Studies: Science of Psychotherapy						
科目コード	8519000	配当学年	大学院	授業形式	特論	共用科目	
単位数	2	開講期	後期	曜時限	水・1	教室	第2演習室
授 業 内 容							
<p>「体験を通じてのサンドプレイ研究」          神話や昔話、関係性、神経生理など幅広い側面からサンドプレイについて考えていく。体験的に学び、深めていく場としたい。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	教育心理臨床実践学演習 I					担当者氏名	角野善宏 山下一夫
英訳	Seminar on School Counseling I						
科目コード	2483000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	2	開講期	通年	曜時限	火・5	教室	文学部東館第3実習室
授 業 内 容							
<p>現場教師との事例検討          いじめ・不登校等の問題で苦慮する現場教師やスクールカウンセラーが事例を提供し、スーパーヴィジョン、コンサルテーション等により、その事例を検討する。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	教育心理臨床実践学演習 II					担当者氏名	山下一夫 角野善宏
英訳	Seminar on School Counseling II						
科目コード	2484000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	2	開講期	通年	曜時限	火・5	教室	文学部東館第3実習室
授 業 内 容							
<p>現場教師との事例検討          いじめ・不登校等の問題で苦慮する現場教師やスクールカウンセラーが事例を提供し、スーパーヴィジョン、コンサルテーション等により、その事例を検討する。</p>							
テキスト 参考文献							

京都教育大学への提供科目

科目名		教育心理臨床学演習				担当者氏名	伊藤良子 宮野正文 広木正 和田竜 和太
英 訳		Seminar on Clinical Observation in School					
科目コード	8792000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	4	開講期	通年	曜 時 限	火・5, 6	教 室	文学部東館第2実習室
授 業 内 容							
<p>いわゆる“教育実習”とは異なる「臨床的観察実習」を教育現場（京都教育大学附属学校・園や公立学校）で実施し、児童、生徒らと直接、関与観察的にふれあい、関与することを体験的に学習する。 これは「いじめ」等の心理的な問題を持つ子どもや一般健常児に直接的、関与観察的に触れる機会となり、臨床及び教育現場と直結した臨床感覚を育てるうえで有用である。</p>							
テキスト 参考文献							

京都教育大学への提供科目

科目名		臨床人間形成学実習Ⅲ				担当者氏名	岩田純一 和田竜太
英 訳		Practice in Group Therapy Ⅲ					
科目コード	8766000	配当学年	大学院	授業形式	実 習	共用科目	
単位数	2	開講期	通年	曜 時 限	金・1, 2	教 室	第5演習室他
授 業 内 容							
<p>子どもを対象とする心理相談のための基礎となる実習を目的とする。実際の保育の場に出かけ、幼児期の子どもと直接に接し、その行動を観察する。そこで一般事例の具体的な行動を観察し、観察から子どもの心の動きを捉え、さらにその人間形成過程に触れてもらう。それを通して、子どもの見方や捉え方、子どもの発達の道すじなどを学び、臨床対象児への療法のための訓練の場としたい。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名		心理臨床実践学Ⅰ・Ⅱ				担当者氏名	岡藤伸紀 伊藤良子 河原俊知 桑原善康 皆野中 藤原章宏 角田
英 訳		Practice in Case Supervision I・II					
科目コード	(Ⅰ) 8703000 (Ⅱ) 8704000	配当学年	大学院	授業形式	実 習	共用科目	
単位数	各2	開講期	後・前期	曜 時 限	(Ⅰ) 後期 金・1, 2 (Ⅱ) 前期 金・1, 2	教 室	第5演習室
授 業 内 容							
<p>大学院生が個々に受け持つ問題事例に関して、院生の臨床実践に具体的に踏み込み、臨床過程と並行してマンツーマンで直接的に指導する方法をとる。 臨床を行う大学院生の必修とし、集中的に心理臨床の実践を学ぶ。</p>							
テキスト 参考文献							



## 大学院博士後期課程臨床実践指導者養成コース科目

科目名	臨床実践指導学研究ⅢA					担当者氏名	藤原勝紀 皆藤章
英訳	Studies on Educational Training of Clinical Psychologist II A						
科目コード	6154000	配当学年	大学院	授業形式	研究	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜時限	月・2	教室	文学部東館第4実習室
授 業 内 容							
<p>臨床実践体験を基盤として、臨床実践指導に関する指導法の開発に照準をおいた教育・研究に関する論文作成の指導を行う。とくに、臨床現場における臨床心理士等の実践活動を公共性あるものとして理論化すること、及びそうしたシステムの開発を図ることに重点をおく。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	臨床実践指導学研究ⅢB					担当者氏名	藤原勝紀 皆藤章
英訳	Studies on Educational Training of Clinical Psychologist II B						
科目コード	6155000	配当学年	大学院	授業形式	研究	共用科目	
単位数	2	開講期	後期	曜時限	月・2	教室	文学部東館第4実習室
授 業 内 容							
<p>心理臨床実践及び臨床実践指導体験に基づき、事例研究や調査研究を中心に、臨床実践指導法、臨床実践指導システム等に関する開発的研究と研究方法を探究する。また、博士學位論文作成に向けての指導を行う。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	臨床実践指導学					担当者氏名	藤原勝紀 名取琢自
英訳	Colloquium on Educational Training of Clinical Psychologist						
科目コード	6156000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜時限	集中	教室	
授 業 内 容							
<p>心理臨床家の養成に関わる臨床実践指導の在り方(実習・スーパーヴィジョン・教育研修等)について、指導における「相互作用」に焦点をあてて検討する。理解を深めるためのワーク(表現されたものへの働きかけに関するもの)を交え、多角的に検討を進めたい。臨床実践指導者の育成(指導法と育成システム等)の問題についても考察する。</p>							
テキスト 参考文献	Kugler, p.(Ed.) 1995 Jungian Perspectives on Clinical Supervision. Einsiedeln: Daimon						

科目名	臨床実践指導学演習 I					担当者氏名	藤原勝紀 皆藤章 桑原知子	
英訳	Research on Educational Training of Clinical Psychologist I							
科目コード	6157000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目		
単位数	2	開講期	前期	曜時限	火・3	教室	266演習室	
授 業 内 容								
<p>心理臨床実践及び臨床実践指導体験に基づき、心理教育相談室事例に関する事例研究に限らず、広く学外研修機関での事例検討・事例研究を中心に、臨床心理面接・臨床心理査定・臨床心理地域援助・臨床心理調査研究に関する相互討議並びに相互心理臨床コメント等について検討する。また、事例スーパーヴィジョンの在り方についても検討する。</p>								
テキスト 参考文献								

科目名	臨床実践指導学演習 II					担当者氏名	岡田康伸 藤原勝紀 皆藤章	
英訳	Research on Educational Training of Clinical Psychologist II							
科目コード	6158000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目		
単位数	2	開講期	後期	曜時限	火・3	教室	266演習室	
授 業 内 容								
<p>心理臨床実践及び臨床実践指導体験に基づき、心理教育相談室事例に関する事例研究に限らず、広く学外研修機関での事例検討・事例研究を中心に、臨床心理面接・臨床心理査定・臨床心理地域援助・臨床心理調査研究に関する相互討議並びに相互心理臨床コメント等について検討する。また、事例スーパーヴィジョンの在り方についても検討する。</p>								
テキスト 参考文献								

科目名	臨床実践指導実習 I					担当者氏名	藤原勝紀 皆藤章	
英訳	Practice on Educational Training of Clinical Psychologist I							
科目コード	6161000	配当学年	大学院	授業形式	実習	共用科目		
単位数	1	開講期	前期	曜時限	火・4	教室	266演習室	
授 業 内 容								
<p>「臨床実践指導学演習 I」を踏まえて、臨床実践指導の在り方について具体的に検討しながら、「臨床心理士」養成過程における臨床実践指導の実際を、臨床現場で実践していく。</p>								
テキスト 参考文献								

科目名		臨床実践指導実習Ⅱ				担当者氏名	藤原勝紀 皆藤章	
英訳		Practice on Educational Training of Clinical Psychologist II						
科目コード	6162000	配当学年	大学院	授業形式	実習	共用科目		
単位数	1	開講期	後期	曜時限	火・4	教室	266演習室	
授 業 内 容								
<p>「臨床実践指導学演習Ⅱ」を踏まえて、臨床実践指導の在り方について具体的に検討しながら、「臨床心理士」養成過程における臨床実践指導の実際を、臨床現場で実践していく。</p>								
テキスト 参考文献								

科目名		学校心理臨床学演習				担当者氏名	藤原勝紀	
英訳		Seminar on Clinical consultation in School						
科目コード	6163000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目		
単位数	4	開講期	通年	曜時限	火・5, 6	教室	第5演習室	
授 業 内 容								
<p>教育現場でのさまざまな場面で、子どもたちとの関わりの持つ意味や指導の方向性を考え学ぶ体験を学習する。 また、教育活動における心理的アプローチの研究実践を通じて、教員へのサポート（コンサルテーション）を学び演習を行ない、学校全体への支援に関しても取り組む体験を持つ訓練を行なう。</p>								
テキスト 参考文献								

## 大学院修士課程研究者養成コース科目

科目名	「教育学新分野」フロンティア A					担当者氏名	田中 毎実 遠藤 利彦 杉本 均 エマニュエル・マナロ リース滝 幸子
英訳	Frontier Studies in Education A						
科目コード	6111000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	
単位数	2	開講期	前期	曜時限	月・6	教室	320
授 業 内 容							
<p>これまでに教育学分野で蓄積されてきた最先端の学術的知見について、各領域の専門家がそれぞれの立場から紹介し、それを学生自身が高度知識社会の「教養知」として共有し、統合し、活用するための接点としての可能性を探求する。本演習は生涯学習社会、高度メディア社会、そして文化的なグローバル化社会が求める「知」の定義を、閉じた大学世界という枠を超え、人間のライフサイクルの全般にわたる営みと、大学を拠点とする全世界的なネットワークというふたつの「軸」の相乗においてとらえ、「知」のフロンティアとしてのフィールド概念の新たな認識への足がかりを提供する。</p>							
テキスト 参考文献							

科目名	「教育学新分野」フロンティア B					担当者氏名	エマニュエル・マナロ 子安 増生
英訳	Frontier Studies in Education B						
科目コード	6112000	配当学年	大学院	授業形式	課題演習	共用科目	学
単位数	2	開講期	前期	曜時限	集中	教室	
授 業 内 容							
<p>Dr. Emmanuel Manalo が中心になり、以下のような9つの独立したトピックで英語における presentation の演習を行う（日程は予定）。</p> <p>5月18日(木)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Good writing at the advanced level</li> <li>2. Grammatical knowledge Part 1; articles and forms of noun</li> <li>3. Grammatical knowledge Part 2; voice and paragraphing</li> </ol> <p>5月19日(金)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. Structuring a research article</li> <li>5. Preparing poster presentations Part 1</li> <li>6. Preparing poster presentations Part 2</li> </ol> <p>5月20日(土)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. Oral presentation skills</li> <li>8. Presentation skills practice and feedback Part 1</li> <li>9. Presentation skills practice and feedback part 2</li> </ol> <p>授業の評価は、出席、英語での発表、ならびにレポートにより行う。英語が苦手な人も恐れずに聴講していただきたい。</p>							
テキスト 参考文献							